

## 衛生学・公衆衛生学講座

### 現在衛生学・公衆衛生学講座で実施している研究は以下の通りです。

#### 研究キーワード

社会的孤立・孤独、フレイル、デジタルデバイド、ウイメンズヘルス、メンタルヘルス、生活習慣病、がん、リアルワールドデータ研究（健診・レセプト情報）

#### 研究概要

##### (1) 働く女性の更年期の不眠症状緩和を目的としたデジタル技術の社会実装に向けた研究

更年期に特有の不眠症状および不眠以外の身体症状に対して、行動変容に基づくデジタルアプリケーション介入の効果を疫学的に検証することを目的とする。ルナルナアプリを利用する45歳～55歳の働く女性を対象とし、認知行動療法応用アプリ群、マインドフルネス応用アプリ群、コントロール群（運動日誌のみ）の3群によるランダム化比較試験（Randomized Controlled Trial : RCT）を実施する。評価時点は、介入前（ベースライン）、ベースラインから4週後（積極的介入終了）、8週後（維持的介入終了後）、12週（介入終了後4週後①）と、16週後（介入終了後8週後②）の計5回を予定している。開発したアプリケーションの動作確認、RCT介入の実施、およびデータ解析をおこなう。

##### (2) 地域在住高齢者の社会的孤立、フレイル、デジタルデバイドに関する調査

2023年度から2024年度にかけて、仙北市在住の65歳以上の高齢者を対象に、自記式質問票調査を実施した。調査項目は基本属性、閉じこもり、社会的・身体的フレイル、基本チェックリスト、医療・健康情報入手状況、デジタルデバイド、eヘルスリテラシーなどである。質問票調査の結果は医療レセプト情報と突合する予定であり、生活習慣病や医療費などを含め、高齢者における健康問題について解析をおこなう。

##### (3)トラックドライバー生活習慣と働き方調査

2025年度に秋田県内のトラックドライバー（運輸業の他、建設業、サービス業も含まれる）に実施した自記式質問票調査（回答者 約1,300人）。調査項目は、労働状況、睡眠時間、不眠症状、飲酒量、喫煙歴、ストレス度、不安・抑うつ度など。別で健康診断・レセプトデータがあり、質問票調査の結果とデータを突合できる。秋田県内のトラックドライバーの労働環境や健康状態に関して解析を行う。

##### (4) その他 救急医療データを用いた解析、秋田県内労働者の健康診断・レセプトデータを用いた解析など要相談。

#### SA学生さんへのアピールポイント

- ・ 横断研究や前向きコホート研究など疫学研究、SASやRなど解析ソフトを用いたデータ処理、統計解析（記述統計、統計的検定、回帰分析など）経験ができます。
- ・ 近年話題のデータベース研究・リアルワールドデータを直に実践することができます。
- ・ データベース研究の限界点・デザインの仕方、健診やレセプト情報などを用いて病気やイベントをどのように定義するのかなど、データベース研究を実践するために必要な基礎的な知識を身に付けることができます。この経験は将来、医療ビッグデータを用いた研究に活かされます。
- ・ 希望される方は、日本公衆衛生学会・日本衛生学会・日本産業衛生学会・秋田県公衆衛生学会での学会発表、英文学術誌への論文投稿が可能です。講座内の教員がサポートいたします。

※お問い合わせは、衛生学・公衆衛生学講座 事務職員 五十嵐  
電話：018-884-6087 e-mail：c.igarashi@med.akita-u.ac.jp

対象学年：1～6年生